

フラワーウォーク新聞記事

中日新聞西三河版・9月1日付け朝刊

自慢のクルクマ販売

碧南市役所 JA部会が職員らに

碧南市で生産が盛んなクルクマの花の販売会が三十一日、市役所であった。JAあいち中央クルクマ部会が協力し、市職員六十人が一束四本を五百円で購

入した。

シヨウガ科のクルクマは、東南アジア原産の球根植物。暑さに強く、ハスに似ていることから、夏の仏花として定着してきたが、最近では結婚式のアレンジフラワーにも使われ

る。ピンクの花びらのように見えるのは、包葉と呼ばれる葉の一種で、その下の小さな紫色をしているのが本当の花びらだ。

市内では自二坪で栽培され、年間二十万本を出荷している。

「エメラルド」「ホワイトラブ」「アイルーシュ」と品種の改良も進み、全国でもトップクラスの品質を誇るようになった。県西三河農林水産事務所や市、農協は今後もPRに力を入れる。

(早川昌幸)



クルクマの花を購入する市職員も 碧南市役所で